

シラバス（学習計画）

教科名	英語	学年	3年
-----	----	----	----

年間の学習計画

月	学習内容	学習のねらい	評価の方法・課題や提出物など
4月	<ul style="list-style-type: none"> ● Unit 0 Three Interesting Facts about Languages （2年次の復習・応用） ● Unit 1 Sports for Everyone 【現在完了】 	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでに学んだことを使って、レポートの情報を読み取ることができる。 ●これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる 	授業態度 ノート ワーク ワークシート プレゼン資料等の 成果物 定期テストの復習 レポート 小テスト（単語・リスニング） 中間テスト 期末テスト パフォーマンステスト
5月	<ul style="list-style-type: none"> ●Let' s Write 1 ファンレター ●Let' s Listen 1 ディスカッション ● Unit 2 Haiku in English 【現在完了、現在完了進行形】 ●Let' s Talk 1 はじめての出会い ●Grammar for Communication 1 	<ul style="list-style-type: none"> ●ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。 	
6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ●Let' s Listen 2 講演 ● Unit 3 Animals on the Red List 【 to不定詞・原形不定詞】 ●Let' s Write 2 記事への意見 ☆ Stage Activity 1 My Activity Report ●Let' s Read 1 A Mother' s Lullaby 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。 ☆これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ●Let' s Listen 3 ラジオの災害情報 ● Unit 4 Be Prepared and Work Together 【間接疑問文・現在分詞・過去分詞】 ●Let' s Talk 2 町中での手助け ●Let' s Listen 4テレビの国際ニュース 	<ul style="list-style-type: none"> ●標識が何を意味しているかを説明することができる。 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● Unit5 A Legacy for Peace 【関係代名詞】 ●Let' s Write 3 グラフや表の活用 ●Grammar for Communication 3 ☆ Stage Activity 2 Discover Japan 	<ul style="list-style-type: none"> ●人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる。 ☆日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。 	

11月	<ul style="list-style-type: none"> ●Let' s Listen 5 世界で働く人へのインタビュー ●Unit 6 Beyond Borders 【仮定法】 ●Let' s Talk 3 食品の選択—賛成・反対する— ●Grammar for Communication 4 ●Let' s Listen 6 中学校生活の思い出 	●架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ☆ Stage Activity 3 Let' s Have a Mini Debate ●Let' s Read 2 Power Your Future ●Let' s Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs 	☆主張とその理由を明確にしながら、ディベートをすることができる。	
1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> 入試対策の副教材を使って 3年間のまとめ・復習 入試問題対策を進める 		

評価・評定について

ここで評価の仕組みについて確認しておきましょう。3つの観点【①知識・技能】【②思考・判断・表現】【③主体的に学習に取り組む態度】それぞれに A・B・C の評価をつけ、それらの評価を総合的に組み合わせて評定（1・2・3・4・5）を決めます。なお、「読む」「聞く」「書く」「話す（発表）」「話す（やりとり）」の5つの活動を通して評価をしていきます。

観点	内 容	方法	段階
①	【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く学習や授業に取り組もうとしているか ・自分の学習を振り返って次に繋げているか	活動の観察・発言 ノートやワーク レポート・制作物	A B C
②	【知識・技能】 ・英語の <u>文法や単語の知識</u> が身についているか ・コミュニケーションで <u>正確に英語を使えるか</u>	定期テスト・小テスト 制作物やレポート ※パフォーマンステスト （主に「話す」活動）	A B C
③	【思考・判断・表現】 ・目的、場面、状況に応じた <u>適切な内容や方法で</u> <u>コミュニケーションをとっているか</u> ・情報を伝えるときの <u>内容や構成</u> ・情報を得るときの取捨選択	定期テスト・小テスト 制作物やレポート ※パフォーマンステスト （主に「話す」活動）	A B C